

翔

第33号 (平成29年9月1日)



全国きもの指導者協会
認証校

山原昌娃きもの着付学院

お陰さまで45周年



学院長 山原 昌佳

出演者・スタッフ合せて170名。午前中のリハーサルだけで、皆さんさりと本番を迎えます。私は「そうそうニッコリ」と声をかけます。皆さんすごいです。立派です。ショー程素敵な仕事はない!!ですね。

今回45周年の催しは、手作り多彩なショーとなりました。各会の会長さん、連鎖校の先生に各々の持ち

日時

11月3日(祝・木)

午後1時30分～3時20分

会場

フォーラム七尾 4階ホール

主催/七尾市文化協会

共催/七尾市

主管/山原昌佳きもの着付学院

松井吉子着付教室・河原佐代子着付教室

ショー

第12回 七尾市民文化祭 学院創立45周年記念

きもの着付け

～のと里山里海 伝えびと～

第18回 きもの文化を楽しむ



時間の演出をして戴きました。

お客様へ感謝をお伝えしたいの思いで距離を考えたTの字舞台にし、近くできものショーを見て戴きました。お客様のお顔を見て「ありがとうございます。お陰さまでここまで来られました」と。応援戴いた皆様に感謝のご挨拶が出来ました。

各会から戴いたスタンド花を、すべて小さな花束に。舞台を飾った花も合わせて、二百人分を用意しました。フィナーレで出演者・スタッフの皆様が「ありがとございました」と私の気持ちも添えて、お客様にお渡し戴けた事はとてもうれしい事でした。舞台で輝かれた皆様、素敵でした。スタッフの皆様にも心より感謝です。



新講師による基本着付け

モデルのように

田鶴浜教室 小垣裕美子

「きものを着る」をテーマに、基本着付けを新講師の方々と参加させて頂きました。

数えられない程練習した基本着付けですが、新たにショーとしてアレンジが加わり、緊張の中本番が始まりました。

着物を着てから一旦舞台袖に下がります。ここからが見せ場で、あっという間に名古屋帯をつけて再登場!そしてランウェイをしとやかに歩きます。

思い描いたモデルさんのようなイメージとはずいぶん違いましたが、素敵な経験でした。

女袴の着装

七尾講師会 向 悦子

今回のテーマは女学生の卒業式で、モデル・着付け共に3名です。

本日の発表はステージ上です。着物の丈は短すぎず足袋から10センチ、おはしよりは長すぎず上・下に振り分けてあります。

半巾帯は、蝶結びと男結びの二種類にしてあります。そして小さめに結んであります。

着付けが完了しました。恩師に見守られて、無事卒業です。

きもの着付ショー

～のと里山伝えびと～

松井教室 山崎 法子

日頃から交流のある河原教室の皆さんと、里山から里海への花嫁道中を再現する寸劇を演じました。

教室で一番若手のお嬢さんに紋付袴のお嬢さんをお願いし、河原教室のかわいらしいお嬢さんが色打掛で登場すると、会場から大きな拍手が鳴りました。お引き役の子供たちは、緊張しながらも手を振って拍手に添えていました。黒留・色留・訪問着と様々に親戚役が花を添え、練習の成果を十分に発揮できました。



きもの着付ショーで

初体験

七尾講師会 山口 節子

着付けを習い始め何度かショーに出させて頂いても毎回緊張し、思うように手は動かず、山原先生の笑顔でねの声かけにも、笑顔はどうやってつくるのかと考え終わってみれば、あーあと思うことばかり。

今年の着付ショーは人生初のランウェイでウオーキング(大げさですかね!)すぐそばにお客様の顔、すべてがまるみえ状態で緊張の嵐。どうにか帯結びをし、笑顔を作り何とか終わったという感じでした。



きもの着付ショー参加

高松教室 堀井 紀子

各教室、各会の発表とのこと、じゃ携わっている皆さんで参加しよう。何が出来るか、どこまで出来るか!と。原点に戻り「半巾に」しよう。楽しくアイデアを出し合い、各自責任をもって練習しました。

基本を大切にしながらの 一本。変化を楽しみながらの 二本。自由ののびのび 三本。

半巾でこんなに楽しく出来る感動と驚き。結ぶ人達の苦勞と喜び。のびのび舞台を歩こう、見てもらおうとモデルさん達。参加できない人や陰で支えて下さった皆さんの思いも一緒に、笑顔で明るく元気にショーを楽しみました。機会を与えていただき本当にありがとうございました。



気づき

師範会 山田 清美

きもの着付けショーにマナー教室より《訪問マナー》をすることになり緊張が走る。身に付いていないことを舞台するのはハードルが高いのです。其の思い通り、動きも口も固く、説明もしどろもどろ...不安。それでも一回、二回、三回と進む練習の中で少しずつ慣れてくる。上手になってくる。

そうです、マナーも学んで終わりではなく日々の積み重ねで身につけていくものなのです。そんな当たり前の事を改めて気づいた私なのでした。

四十五周年記念文化祭に参加して

羽昨教室・友朋会 八野田美智子

羽昨教室は平成二十五年に輪島での草木染体験で仕上げた紫レースショールを活かした着付けをしました。文化祭の一か月前から、昨年十一月に亡くなられた石端先生（文化祭当日は見ていただけなかったのですが）のご指導で構成、歩き方、帯結び等々。帯結びでは田中先生にお手伝いしていただきました。最後に参加者全員が衣桁に掛けてあったショールを一人一人自由に掛け方で最高のパフォーマンスをして舞台を降りました。



着物ショーに参加

津幡教室 松本 敬子

金沢・岩城・津幡の三教室合同で「四季の歌」を選曲し着物で季節を表現する事にしました。春・夏・秋・冬の四グループに分かれ振り付け・曲に合わせての歩き等を考えました。

色々と苦勞（夏から秋の間奏が長く手話を取り入れ）もありましたが、グループは結束し全体の絆も深まり、楽しかった想いがよみがえります。最後にお花を手にしたお客様、渡した学院の皆様、会場は笑顔！笑顔！



赤衣着物は宝物

小丸山台着付教室 笹谷 伸子

着付けを習い始めて半年。他の先生方の着付けも見れると楽しみにしていた当日ですが、リハール時点で娘が泣き出し、着物も着ないという始末。どうにか本番までには着てくれステージに上がる事が出来ました。そんな娘も今では3歳。当時の写真を見て嬉しそうに「赤衣着物また着たい！ママ次いつ着るの？」と聞いてきます。母が孫に、祖母が私に仕立ててくれた着物。一緒に着た日の思い出は、私と娘の宝物です。ありがとうございました。



七十七歳の手習い

ふみ娃きもの着付教室 木下 雅子

「あら久しぶり！どうしてる？」「毎日が日曜日やし、何か楽しいことない？」と私。『そんなもったいない私、きものの着付け教室にいるし、来てみたら』という誘いの言葉に飛びついて、竹ヶ端先生の教室へ行ってみました。

『初心者には舞台で簡単なおたこ結ぶことになってるのよ』と再び暗示にかかりやすい私は乗ってしまっていた。それから毎週一回の特訓で何とか時間内に出来るかな？という段階で当日を迎えてしまいました。今では富美江先生に感謝です。



相手に結ぶ二重太鼓

金沢講師会 橋本亜希子

金沢講師会では、5月から二人ずつペアになって「着物は自分で着て、帯はお互いに締める。」という事で始めました。毎月の講師会では「こちらの方が結びやすい、こちらのほうが形がきれい」と様々な意見が出て大変勉強になりました。

当日は短い時間に、皆で揃えて見せるという事で緊張しましたが、たくさんさんの拍手の中を歩いた時は嬉しく思いました。半年かけて「一人に結ぶ」という練習は本当に自分の糧になりました。



黒留袖でキリツと！

金沢準師範会 宮本 良子

振袖を着ていた娘が嫁ぎ、袖を短くし留袖を着るようになる。留袖は女の一生の最頂点かも知れない。

ミセスが慶事に着る最高の格式あるもので、品良く着ることが求められる。

BGMのラベルのボレロは同じメロディが繰り返し、段々とバージョンアップして行く。復活と再生を表しているようで、嫁いだ女性が婚家で自分らしく堂々と生きてほしいと願い選曲した。同じメロディの繰り返しでどこで次の動きに移るのか捉え難く大変だったが、総勢十八人の黒留袖姿は圧巻。短い練習回数でよくこなせたメンバーはさすがでした。



若いってすてき

師範会 久木満津美

日が近づいてきてもモデルから何んの連絡もなく、果して髪を綺麗にして時間に間に合うように出てくれるのか心配になってきました。前日は泊り、集まるとさっそく宴会。夜遅くまでわいわい！当日は本人たちプロモデル気分。どうしようと笑顔でポーズしてくれました。若いってすごい。家族中を動かし、舞台に華を添えてくれるパワーがあるのだなと感心しました。



第4回『きものの集い』

ダンスの中のきものに光を当てましょう!!

手話でコミュニケーション
暮らしに役立つマナー

と き／平成29年2月26日(日)
ところ／和倉温泉あえの風
主 催／きもの文化を楽しむ会
後 援／七尾市文化協会



きもの文化を楽しむ会 役員の皆さま



きもの文化を楽しむ会会長
橋元 道彦様

きものが大好きな皆さん! 回を重ねて第4回
呉服店さんからもお声かけしていただき、その輪が一層
広がり会場は、華やかさであふれました。



手話でコミュニケーション

浅井津幡教室 吉田 詔子

手話とは

①耳が聞こえなく言葉も話すことが難しい人達を「ろうあ者」と言い、その人達が日常使っている「ことば」を手話といいます。

彼等は耳が聞こえないだけで声は出ます。…がお話はできません。なぜ? ↓音を聞いたことがありません。私たちがお話の出来るのは耳から入り音声としてとらえて(音声語)言葉を発します。どうやって「ろうあ者」は言葉を覚えるか

全ての言葉は目で見て覚えます。手話は見ることで動作としてとらえます。

②コミュニケーションのとり方

6つの方法があります。今日はその中から手話を使って皆様と少しの時間を共にしたいと思います。◎手話で一番大切なことは表現です。楽しい時には顔の表情も楽しく悲しい時には顔の表情も悲しく必ず一緒に手を動かし、口もしつかりと開きます。



暮らしに役立つマナー

訪問のマナー

訪問する側、受ける側の両方の立居振るまいを実技で見ました。ぞうりの扱い、ふすまの開け方、座ぶとんの扱い、手みやげの渡し方、お茶、お菓子の出し方、いただき方を学びました。

「きものの集い」に参加して

師範会 東 きよえ

「暮らしのマナー・訪問のマナー」の実技に参加いたしました。始めは軽い気持ちでしたが、練習してみても身につけていないことがわかりました。当日なんとか無事終えることができましたが、緊張で思っていたような所作等が出来ませんでした。今回機会を頂いたことで少しは、自分のものになったように思います。又機会があればいろいろ参加していきたいと思っています。

きものと能登

きもの処 森 孝裕



乾杯のご発声をいただきました

私共にもお声掛けを下さり、参加をさせていただいています。感動するのは本当にたくさんの方々を着付けで集うことです。山原きもの着付学院の広がりや山原先生を中心とした先生方の人柄やご指導があつてのことだと感じます。能登や七尾では着物姿の方を見かけることが次第に少なくなりました。歴史のあるこの街で、着物文化をもっと発展、根づかせることができれば、その一助になればと思っております。

心より感謝しております

備和福工房はる喜 春木 美智子

今回のパーティでは手話と踊りを拝見できるという事で楽しみに参加させて頂きました。手話は手で表現するだけでなく顔の表情も大変大切との事を学ばせて頂きました。また舞踊は講師の方の



テーブルごとに舞台に立つ



着姿と踊りが素晴らしく、華やかな雰囲気を感じました。学院には素晴らしい人材が揃っておられることを改めて感じ、加賀屋さんのお食事と共に、一日を楽しませていただきました。有難うございました。



実行委員会の打合せ

きもの文化を楽しむ会

会長	七尾市文化協会会長	道彦
副会長	加賀屋女将	眞弓子
委員	エッセイスト	良子
委員	七尾市文化協理	憲子
委員	山原昌娃	昌娃
委員	春木周衛	勝美
委員	佐藤淳一	津美
委員	松井吉子	中み
委員	深浦米子	由美子
委員	平山広美	山悦子
委員	橋本亜希子	
実行委員		
春木直樹		
藤澤久江		
藤田寿代		
竹田宏枝		
宮本良子		

第43回 全国きもの指導者協会 京都総会

日時 平成二十九年四月十六日(日)

場所 ホテルグランヴィア京都

今回の開催地区として、山原昌娃きもの着付学院から56名が出席しました。山原学院長の決意、総会参加への呼びかけ、開催学院としての責任感等を示す為の盛大な拍手をするつもりで待機していました。花束贈呈と引き

継ぎの握手はあったものの、学院長の言葉が聞けなかったのは心残りでした。二年後の総会。チーム山原学院の団結と底力で成功させましょう。



山原学院長より福島学院長にお祝いの花束贈呈



全国きもの指導者協会 理事長 高林正喜様を囲んで

つなげて生かそう

師範会 池田 孝子

次回総会開催は、七尾地区、山原昌娃きもの着付学院。先生の声かけ、情熱が輪となって広がり、今回京都に多くの仲間と参加。テーマ「逸品作品を愛し和文を育む」創り手の真(こころ)からの語りかけが、ひしひしと伝わって来る。そして作品を着こなしたモデルの目線、指先までも神経のゆき届いた手のしなやかな動き、流れる動線に美の虜となる。又、観劇した「美女と野獣」舞台装置、照明等、演出効果を大きく上げていた。

京都の総会に参加して

金沢準師範会 大矢 保子

長年参加できず、今回初めて総会に出席させて頂きました。着物ショーでは、昨今観光で来る若者の華やかな着物と違い、平安、室町、桃山、現代に至る古典的な柄で、古さを感じさせない落ち着きのある着物だと思えます。京友禅、加賀友禅も伝統工芸を継承する事の難しさを知りました。

翌日は観光に出かけました。満開の桜とはいきませんでしたが、まだまだ綺麗でした。

金閣寺、銀閣寺、清水寺を巡り、ハブニング有りのとても楽しい一日でした。

七尾市文化協会新春の集いにおいて

師範会 田中 ひとみ

1月24日(土)和倉温泉「あえの風」において、七尾市文化協会「新春の集い」が挙行されました。文化協会会員が所狭しと集い新春の顔合わせの場として、また、今年一年の協会の進む方向性について語る場所として開催されております。

そしてハイライトは、文化協会にご尽力いただいた先生方に授与される「文化協会賞」の授与式です。当、山原昌娃きもの着付学院山原学院長は、永きに渡り七尾市内外におい



平成28年度文化協会賞を受賞

文化協会新春の集い



師範会よりお祝いの花束を。先生、おめでとうございます。



マナーを知り、美しさを知る

フォーラム七尾事務長 向 俊子様



いきます。私たち職員が笑顔になる時間です。そしてお教室の皆様も、必ず明るい声で丁寧に来室や終了の報告をしていきます。「さすが現代マナーを教室名にしているだけある」と思うことが度々ありました。山原先生の指導が行き届いているのでしよう。

先日は「ゆかた&帯結びショー」がありました。受講生の浴衣を見るだけかと思いましたが、創作帯結びする様子を目の前で見る事ができました。いろいろな結び方があることを知り、驚きと共に楽しい時間となりました。ずっと伸びた背中、凛とした美しさ、浴衣がよく似合うこと…日本の良さ・美しさを改めて感じる事ができました。

日本の良き伝統を大事にしている山原昌娃きもの着付学院です。身も心も美しい女性を益々増やしていくことを楽しみにしています。

平成29年全国きもの指導者協会

資格授与式・講習会

日時 平成二十九年七月十六日(日)
場所 七尾美術館 アートホール

精進のたまものである資格証と木札を学院長より手渡された。その成果である実技披露。厳粛さと晴れがましさのあふれた式でした。



師範の実技披露にアドバイスする山原昌雄学院長(右端)＝県七尾美術館で

資格授与式に参加して

高松美智子教室 高松美智子

今年の資格授与式は、私にとり、特別な一日となりました。当教室より橋谷多津子さんと、西谷洋子教室から岡豊子さんが師範として授与されました。携わった者として、うれしさ以上に緊張の連続でした。この場に(故)西谷洋子先生が同席されていれば、どれほど感激されたことだろうと、胸があつくります。ここまで導いて下さった西谷先生のお力の賜です。学院長が常に伝えておられるように、師範になられたお二人には、きもの文化を広める指導者として精進されますように期待したいと願っています。たくさんの方の生徒を育ててこられた学院長のご苦労と、細やかな心くばりに改めて尊敬の念を強く致しました。



新講師の皆さん

続いて実技披露や講習会があり、学院長が振袖の着付けや帯結びのポイントなどを指導した。(鈴木弘)

着付け指導者 尾 15人に資格証 七

山原昌雄きもの着付学院(七尾市)の資格授与式が十六日、県七尾美術館アートホールであり、全国きもの指導者協会の認定を受けた十五人に、山原学院長から資格証が渡された。



新師範の皆さん



新準師範の皆さん

講習会

山原学院長の「習得した技術を広く学院の皆さんに伝えたい」という熱い思いの講習会が午後から実施された。

・きもの姿トータルの美しさ
・振袖の着付ポイントと帯結びについて、田中ひとみ、竹ヶ端富美江両師範の実技を伴いながら、学院長の講話が行われた。

その後、帯結びを実演する場も持たれ、各自の実践に結びついた講習会となった。



資格授与式に参加して

羽昨教室 高野なり子

資格を授与された皆様、おめでとうございます。羽昨教室から今年米寿を迎えられた松本敬子さんが授与されてとても感激しました。

午後からは、山原学院長の講習会があり、「きもの姿トータルの美しさ」を教わりました。



意欲的に実技に取り組みました。

えもん(衣紋)の大切さ。衿の開き、前の掛け合わせ、着丈がとても重要であること。髪型の大きさや、着物の格、ミス、ミセスによって違う事。又、ゆかたは襦袢を着ていないので着せ方がむずかしい事。振袖の着付けのポイント、帯結びの実技もありとても勉強になりました。



準師範になられた松本敬子さんは、今年の十二月で満八十八才になります。米寿のお祝いをさせていただきます。

山原昌雄きもの着付学院 各会・認定校・連鎖校役員一覧			
会 名		H29年度役員	
師範会		藪下 全子	竹ヶ端富美江
七尾準師範会		宮本富美子	尾田美千代
金沢準師範会		鹿島つや子	山本 民子
七尾講師会		守友 伸子	黒崎真奈美
金沢講師会		嵐 裕子	江上 育子
教室名	先 生	H29年度役員	
氷見教室	田中(孝美)先生	南 照子	谷口 京子
金沢教室	中座先生	松田 恵子	
羽昨教室	田中(カフミ)先生	山本 悦子	丸吉ひとみ
		保志場由起子	
松井教室	松井先生	大根 佳代	
田鶴浜教室	藤沢先生	酒井 道子	浜崎 節子
鹿西教室	三浦先生	室塚 光子	朝倉 瑞貴
高松教室	堀井先生	鈴谷喜美子	松本 礼子
高松美智子教室	高松先生	田中久美子	
津幡教室	浅井先生	松本 敬子	
まさこ教室	石川先生	松井 俊子	

資格取得者一覧

師範



岡 豊子
輪島市門前町広岡

一度は立ち止まった私でしたが、師範の資格を頂く事が出来、学院長はじめ諸先生方、今どこに見ているだろう？西谷先生に感謝でいっぱいです。師範と言う名について行けるよう、努力してまいりますので、今後ともご指導頂きますよう、よろしくお願い致します。



橋谷 多津子
羽咋郡志賀町八幡

着付の門を叩いて早25年、時はあつと言う間に過ぎ、迷ったり寄り道したり色々有りましたが折に触れ丁寧な指導して下さいました山原先生、高松先生、故西谷先生のお陰で、お免状を頂く事が出来ました。まだまだ未熟ではございますが、初心忘れずこれからも精進して参りますので、ご指導の程よろしくお願い致します。



松田 浩美
七尾市奥原町

師範の資格を頂き、とても身の引き締まる思いです。着付を始めて二十数年たち、その間にたくさんの人達との

出合いがありました。先生方のご指導のお陰で続けることが出来、感謝しております。今後も着物の良き、着付の楽しさを伝えて日々精進していきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。



宮本 徳子
鹿島郡中能登町徳前

この度は、山原先生、また諸先生方の元、師範の名譽を頂戴いたしました。身の引き締まる思いです。娘の為に一念発起して始めた着付ですが、今では自己啓発は勿論、楽しみの為なくてはならないものとなりました。これから着物物の楽しさ美しさを皆様にお伝えするお手伝いができるよう一層努力していきます。ありがとうございました。



野島 圭子
河北郡津幡町

この度、師範の資格を頂きありがとうございます。また新たなスタートラインに立ち身の引きしまる思いです。今ここに私があるのは、学院長はじめ諸先生方のご指導と、そして沢山の皆様を支えられひびき助けられて、続けてこれたからに尽きます。感謝の気持ちでいっぱいです。初心にかえり努力していききたいと思ひます。



宮本 富美子
中能登町金丸

この度は師範資格を頂き、山原学院長始め諸先生方には心より御礼申し上げます。ありがとうございます。初心忘るべからず「新たな出発点に立ち一人でも多くの方の着物着付けのお手伝いが出来ればと思っております。日々努力し精進してまいります。これからも宜しく御願い致します。

準師範



松本 敬子
羽咋市東川原町

準師範の資格を頂き、ありがとうございます。ご指導して下さった山原先生をはじめ、多くの先生や、仲間に入れて下さった方々のおかげです。「鉄は熱いうちに打て」といわれたいますが、だんだんと打つても響くようにはいきませんが、今後ともご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。



春木 未央子
七尾市松物町

着物を一人を着れるようになりたいと始めた着付が、今年で約15年が経ち

資格取得者一覧

ました。今では一人でも多くの方が着物を着れるようになって欲しいな！と着方を教える立場になっていきます。準師範の資格に恥じぬよう今後も上手に着方を指導できるように精進したいと考えています。



向悦子
七尾市中島町

フォーラムの夜の教室に参加するようになり8年が過ぎ、今回準師範の資格証と木札を頂き、感無量です。

これまで支えて下さった沢山の皆様に感謝しつつ、自分の力を地域の皆様の為に役立てられたらどんなにうれしか、楽しみです。



宮内 望未
中能登町二宮あおば台

この度は、準師範の資格を頂き感謝の気持ちで一杯です。

山原先生から教わった「着物を着る喜び」「着物を着せる喜び」「着付けを教える喜び」を大切にこれまで以上に精進していきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



橋本 亜希子
白山市

準師範の資格を頂くことが出来て、嬉しい気持ちで一杯です。山原先生はじめ皆様のおかげと感謝しております。学院は、教室で習う他に、いろいろな行事で、諸先輩からいろいろ教わります。本当に学院に出会えてよかったと思っております。まだまだ未熟です。今後も研鑽を積んでいきたいと思っております。



木本 しず子
かほく市

着付けを習い始めた当時も不器用な私が、この様な資格を頂く事が出来ましたのも、ひとえに、厳しくも優しい山原先生、きめ細かく忍耐強く指導してくださる堀井先生、そして教室の仲間のお蔭と、感謝の気持ちでいっぱいです。先生方に教わった事を肝に銘じ、今後も精進していききたいと思ひます。



荒木 幸子
河北郡内灘町

この度は、身に余る準師範の資格を頂き、誠に有難うございます。山原先生はじめ、多くの皆様の温かいご指導とご支えに恵まれ、今日まで続ける事が出来

講師



坂井 たみえ
金沢市神宮寺3丁目

山原学院長はじめご指導下さいました諸先生方に御礼申し上げます。先日の授与式で、山原学院長の「実技発表はご来場の皆様に講師としてあなた方を認めて頂く場なのよ」とのお言葉を拝聴し資格の重さを新たに致しました。



小林 幸代
羽咋市寺家町

この度は講師の資格を頂き誠にありがとうございます。

これまでの諸先生方のあたたかで丁寧なご指導に感謝いたしますとともに今後も初心を忘れず日々精進してゆく所存です。よろしくお願い致します。

九州北部豪雨災害お見舞

授与式の際の募金、62,510円を七月一八日、日本赤十字社石川県支部へ届けました。ご協力ありがとうございました。



リックス やまざき
(有)山崎酒店

〒929-1521 石川県鹿島郡中能登町金丸204
TEL(0767)72-2057 FAX72-2104
営業時間/AM6:30~PM9:00 定休日/第1日曜日、第3日曜日

富山土建株式会社

羽咋市千里浜町ソ1 TEL.0767-22-0052

キズ・ヘコミ
お任せ下さい。

〒927-2171 石川県輪島市門前町本市11-60-1
米倉自動車钣金塗装
TEL.0768-42-1380 FAX.0768-42-1590

一手打ちそば



門前町総持寺通り
☎0768-42-1998

(有)清廣園緑化

代表取締役 廣野 拓雄
〒927-2174 石川県輪島市門前町広岡10の8
電話 (0768) 42-0641 番
FAX (0768) 42-0135 番



沢田エンジニアリング株式会社

下水道処理施設維持管理業者登録 登録番号 処23-637
〒927-2171 石川県輪島市門前町本市25の43

全国和装学院連絡会
1月27日 京都にて



全国和装学院連合会の、29年度第一回全体会議があり、出席しました。
毎年11月開催の「きもの日」無料きもの着付け講習会の今年度企画と昨年度の結果報告です。
会議の後、市田ひろみ会長先生の文化庁長官表彰をお祝いする茶話会がありました。(山原)

きもの日
11月13日

全国一斉に開催の無料着付け教室。フォーラム七尾・各連鎖校でも行なわれました。



平成29年度
NPO和装教育国民
推進会議賛助会員

- | |
|-------|
| 山原 昌雄 | 久木 津美 | 織田 洋子 | 上島 洋子 | 中座 洋子 | 松井 洋子 | 藤井 洋子 | 堀井 洋子 | 三浦 洋子 | 宮原 洋子 | 河島 洋子 | 田中 洋子 | 浅井 洋子 | 数井 洋子 | 瀬田 洋子 | 高松 洋子 | 新田 洋子 | 山田 洋子 | 八木 洋子 | 山下 洋子 | 山口 洋子 | 市川 洋子 | 竹内 洋子 | 石川 洋子 | 尾崎 洋子 | 東田 洋子 | 東田 洋子 | 山田 洋子 | 橋本 洋子 | 岡田 洋子 | 高田 洋子 | 小池 洋子 | 高田 洋子 | 丸山 洋子 | 木村 洋子 | 松本 洋子 | 鮎川 洋子 |
| 山原 昌雄 | 久木 津美 | 織田 洋子 | 上島 洋子 | 中座 洋子 | 松井 洋子 | 藤井 洋子 | 堀井 洋子 | 三浦 洋子 | 宮原 洋子 | 河島 洋子 | 田中 洋子 | 浅井 洋子 | 数井 洋子 | 瀬田 洋子 | 高松 洋子 | 新田 洋子 | 山田 洋子 | 八木 洋子 | 山下 洋子 | 山口 洋子 | 市川 洋子 | 竹内 洋子 | 石川 洋子 | 尾崎 洋子 | 東田 洋子 | 東田 洋子 | 山田 洋子 | 橋本 洋子 | 岡田 洋子 | 高田 洋子 | 小池 洋子 | 高田 洋子 | 丸山 洋子 | 木村 洋子 | 松本 洋子 | 鮎川 洋子 |

中学生の着方教室に
参加して

金沢準師範会 吉本みちえ

9月7日に静かな田園地帯に建つ白山市笠間中学校の着方教室に行ってきました。

9月といっても夏本番みたいな暑い日でした。私は着方教室は初めてなので、少々緊張していましたが、可愛い学生さんを見たら、緊張もとけました。他の団体の先生方と共に、1人3人の着付けを教える事になりました。私達の担当の学生さんは9割近くの方が作り帯を持ってきていました。

浴衣の着付け、帯の結び方を1、2回に、最後に浴衣のたたみ方をして45分で終了しました。どの子も一生懸命に取り組んでいました。終わりの時の学生さんの笑顔がとても印象的でした。これを機会に着物に興味を持ってくれたらいいなあと思います。又、運動会で浴衣を着て踊っている所を見てみたいと思いました。



サマースクールに
参加して

師範会 山田 清美

8月24日、金沢市立清泉中学校にて、男子12名、女子20名を対象に着方教室を行いました。

NPO法人和装教育国民推進会議では中学校の授業に和装教育をという事で活動していますが、中々授業に取り入れてもらえません。そこで今回は、サマースクールという形で着方教室を提案し、開催することとなりました。

内容は2時間の授業形態で、講義・実習と充実した内容で行うことが出来ました。浴衣姿の中学生達の嬉しそうな様子が印象的でした。



「につぼん丸」

2年ぶり寄港 5月2日

おもてなしはきもので

七尾準師範会 平山 広美

七尾市は海運業が盛んで大型客船の誘致事業も行っており、五月の大型連休に商船三井の豪華客船「につぼん丸」が二年来に寄港するという事で山原学院長をはじめボランティアとして歓迎行事に参加いたしました。

当日は日本晴れで着物姿の方も各方面から七十名ほど参列し埠頭には華やかな歓迎ムード一色でした。次々と降りて来られる旅人の中に以前にも同じく船旅の途中で親しくお話しさせて頂いた川越からお越しの仲良しご夫妻と再会でき、とても感動いたしました。よく一期一会と言いますが、きものを着る事で出来るコミュニケーションは時折、人の輪を生み簡素な日常に彩り



をもたらししてくれます。着物姿は客船で大変優遇されると聞き、いつか乗客になりたいと思いを馳せながら心を込めてお見送りも致しました。



写真他に細田節子、清酒利津子、春木未央子、黒崎真奈美、坂下美穂 参加

百万石踊り流し

6月3日

百万石踊り流しに参加
しました

師範会 山本由美子

金沢の中心部に総勢96団体、1万人を超える人達がそれぞれお揃いの浴衣で参加しています。

初めて参加した年はなかなか覚えられないステップ等にもなるのと体が覚えていて楽しむ余裕もできました。私達の元気な笑顔と踊り、そして浴衣を素敵に着こなすが評価されたのでしょうか「ハッスル賞」を頂く事が出来ました。



百万石踊り流しで「ハッスル賞」4年目で賞をいただくなんて、びっくりです。キャーキャーワーワーと大騒ぎ。副賞が重たくて、この顔です。



着付けで繋がった縁で皆さんと楽しい一夜を過ごす事が出来嬉しく思います。来年も参加したいと思っています。



- | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|
| 山原 昌雄 | 中座 道子 | 西田 全子 | 山下 清美 | 深浦 米子 | 竹内 米子 | 尾崎 米子 | 東田 米子 | 山田 米子 | 山田 米子 | 塩田 米子 | 吉本 米子 | 大矢 米子 | 角島 米子 | 宮本 米子 | 澤 米子 | 鹿島 米子 |
| 山原 昌雄 | 中座 道子 | 西田 全子 | 山下 清美 | 深浦 米子 | 竹内 米子 | 尾崎 米子 | 東田 米子 | 山田 米子 | 山田 米子 | 塩田 米子 | 吉本 米子 | 大矢 米子 | 角島 米子 | 宮本 米子 | 澤 米子 | 鹿島 米子 |

学院だより



9月19日

参加
フォーラム七尾まつりに



火曜日・木曜日教室参加の皆さん

12月18日

着付士科の最終授業

留袖16分、振袖20分でストップです。13名よく頑張りました。証拠写真の一部です。



1月8日

成人式でのボランティア

きもの着付け手直しと集合写真撮影時の、お袖直し等を行っています。



4月8日

金沢中日文化センター土曜教室

和装での立ち居振る舞い

師範会 尾西ゆき子

外出のマナーの勉強で教室の方とお花見を兼ね金沢城公園へ出かけました。

自装での外出は初めての方是不安そうでした。顎を引き背筋を伸ばして歩幅は少し小さく、階段の上り下りは足首を見せず体を斜めに一段づつゆっくり、バスでは手は顔位の高さで反対の手で袖口を押さえる。正しい所作は、美しい着物姿と着崩れを防ぐこと等、山原先生に実地で習い、親睦も含めた楽しい一時でした。

受講生ら 歩く作法学ぶ
「きもの着付け」野外実習



金沢中日文化センターの外国人観光客から「ビニール」の着付け「講義」の野田先生が「きもの着付け」と題して、金沢城公園で、受講生らと「きもの着付け」の作法を教わった。

青やオレンジなど、どりの着物を着て公園で歩き回ると、合内を散策。「講義」の野田先生は「きもの着付け」の作法を教わった。

野田先生は「きもの着付け」の作法を教わった。

野田先生は「きもの着付け」の作法を教わった。

平成29年4月9日 北陸中日新聞掲載

7月2日

香り喫茶で浴衣ショー

工夫に富んだ
帯結び涼しげ

七尾でショー

浴衣の帯の創作結びを披露する「ゆかた・帯結びショ」が二日、七尾市御成町のフォーラム七尾で開催され、華やかで涼しげな一時を演出した。写真。

市内で着物着付けの講師をしている山原昌雄さんの門下生十六人が音楽に合わせ、浴衣の色と対照的な色を見せたりして、会場を沸かせた。



山原さんは「自分の思いをのびに表現し、浴衣とマッチングさせるのが問われる。面白い発想を見せたらいいと思う」と話していた。(武藤周吉)

平成29年7月3日 北陸中日新聞掲載

七尾港まつり・総踊り

7月16日

市民の皆様方への、ゆかた着付けボランティアを終え、集合場所へとかけつけます。笑顔でハイポーズ。

大雨にて途中で踊りは中止、早々と打ち上げ会場へ。朝から長かった一日、お疲れ様でした。



総踊り参加者

山原 昌雄
久木 満津美
河原 佐代子
石川 勝子
山原 昌雄
久木 満津美
河原 佐代子
石川 勝子

ゆかた着付けボランティア

七尾商工会議所

久木 満津美
瀬口 三恵子
松井 三恵子
尾田 美千代
水野 豊子

フォーラム七尾

竹田 宏枝
深浦 米子
小林 美紀
田中 ひとみ
藤田 寿代
平山 広美
宮本 富美子
保志場由紀子
細田 節子
宮本 徳子



山本 由美子
春木 直樹
春木 悠華
神前 淳子
山口 節子
豊島 有里
宮本 富美子
尾田 美千代
細田 節子
竹田 宏枝
平山 広美
松井 三恵子
久木 満津美
宮本 徳子
小林 美紀
黒崎 真奈美
坂下 美穂
酒井 道子
水野 裕美子
高瀬 仁美

京の雅

7月15日

「貴族と武家、美しい日本の文化を渋谷で愉しむ」のキャッチフレーズで、セルリアンタワー地下2階の能楽堂で行われました。

白い玉砂利が結界を示す能舞台の正面席、一列目。馴れない雰囲気の中、最初は緊張していたものの、細部迄しっかりと見えてとても幸せでした。十二単の着装は何度観ても、やはり素晴らしい。市田ひろみ先生の解説も解りやすく、何度聞いてもその度新しい発見があります。実技をされたお二人の先生も所作が慣れいて見てたえがありました。

昨年の伊勢・志摩サミットにも使



用されたという十二単は古代色が鮮やかで、誇れる染色技術に日本の歴史を感じました。

長い時をかけて着付けた衣装を、最後に一気に脱がせました。その場面の写真をご覧ください。(山原)



学院創立45周年記念 きもの着付けショーを終えて

皆様お疲れさまでした。ありがとうございました。ご家族の方も巻き込んでの発表会となりました。いつものことながら大変お世話になり、心よりお礼申し上げます。

ありがとう45周年

各会、各連鎖校の皆様お一人お一人にお礼を申し上げます。食事を持たせていただきました。

各会の会長さん、各連鎖校の先生方、お心くばりがあり祝賀会として共に喜び合えた事が嬉しく、この節目を迎えられたことへの感謝の気持ちでいっぱいです。

久木先生、田中先生、藤田先生にも同行いただきました。お忙しい中ありがとうございました。

11月3日「虹と海」にて42名

師範、金沢・七尾準師範、金沢・七尾講師。サブライズでたくさんのお祝いと花束を頂戴しました。お泊りと云う事もあり、歌って踊っての大ブレイクでした。

11月7日「びっくり」にて7名

竹ヶ端教室 (山原・久木)

11月12日金沢ニューグランドホテル

「友禅」にて19名

金沢準師範会・中座教室・浅井教室・岩城教室合同で(山原・久木)(尾西・竹田・中座・会津)

11月19日「卯辰」にて11名

金沢講師会 (山原・田中・藤田)(橋本・荒木)

11月25日「ビューサンセット」

故西谷先生のお宅へお伺いして御参り。西谷先生のご主人が送り迎えを下さいました。6名 (山原・久木)

11月26日「ヴィラ・デラ・パチエ」

七尾準師範、宮島教室 10名 (山原・久木)



故石端先生が気にかけておられたこの会食、笑顔で終わりました。

12月3日「まつお」にて18名

羽昨教室 会食後師範の会を持ち、責任者として田中カフミ先生が就かれました。(山原・久木)

12月10日「松の寿し」にて16名

七尾講師会

(山原・田中・藤田・向)

12月17日「かほく亭」にて31名

高松教室

(山原・久木)



感謝の思い

師範会 久木満津美

発表会も無事に終わり、その後すぐに、山原先生が45周年という節目に連鎖校・各会の一人一人に感謝の気持ちを書いた。いつも足手まといの私が一緒にすることになりました。共に歩いた先生方に会ったとき、私の緊張もやわらぎ楽しいひとときを過ごすことができました。私が一番気になったことは、山原先生がこの節目に「感謝の気持ち」を一人一人に伝えたいと云うことが本当に伝わったのか？

先生のお言葉「人に教える事により自分が勉強になり 成長する。その繰り返しが伝統である着物文化を守ることであり」と。

何年たってもこれで良いと云うことはなく、これからも精進したいと思っています。

45周年を終えて

師範会 田中ひとみ

45周年思い出の1ページを、お一人お一人と親しく着を進めながら語りたいとの学院長の思いから、11月19日(土)金沢講師会の皆様とのご縁を一緒にいただきました。

会員年数に関わらず、着物に対する思いや着付けに携わる思いを寄せ合いました。発表が終わった後の安堵感と満足感、経験者だけが味わえる喜びです。

金沢の街が一望できるステキな佇まいの「卯辰」と美味しい料理が華やぐ気持ちにプラスされたひととき

編集会議

細田編集長の段取りの良さと皆さんのお陰で、思いの詰まった学院誌、今年も仕上がりました。次号に原稿を寄せて下さい。各会の会長さん、連鎖校の先生、教室の写真を撮ってね。(山原昌雄)



(山原昌雄)

山原先生始め先輩の方々が継承されてきた期の本制作に携わって誇りであり、貴重な体験を学んでいます。会計をお引き受けし少しですが役に立てたものと、今出来る事をさせて頂いたたいです。皆様と共に良い本に仕上がるとう励んでいます。(河原佐代子)

「翔」編集に携わって十数年、この時期デスは熱い思いで奮闘中。長きにわたり希望通りに構成をして下さる担当の松山さん、ご苦労さん。

今、若い感性と行動力あふれたメンバーさん達にバトンを継いでもらう。次号からも魅力ある紙面に期待です。(瀬口良子)

繋がる

師範会 藤田 寿代

学院創立45周年を、会毎に教室毎にお祝いする会が開かれ、私は、七尾講師会に一緒にさせて頂き、普段見つけられない笑顔やお話を聞くことが出来、貴重な一日でした。

着付けと向かいあう目的や目標は、一人一人違っても、着付けへの、そして学院への想いは絆糸で繋がって、一緒に歩んでいる仲間との絆は横糸で繋がって、柔らかな暖かい一枚のきもの大事部分部分を担っているのだと改めて実感致しました。

この大きな45周年の慶びの輪の中にいられた事、そして次の節目を創造していく輪の中にいられる様、頑張らねばと誓った一日でもありました。

近況をありがとう

食事に、どうしても都合悪くて欠席された方々40名に心ばかりの品を贈らせていただきました。

ご丁寧なお手紙、お便りを戴きありがとうございます。電話をかけて下さった方々もいて、久しぶりにゆつくり話をする事が出来ました。教室や会をお休みの方で、久しぶり顔を合せていない方とも話が出来、近況をお聞きしながらホワッと心のなごみを感じました。(山原)

半年以上前の行事の原稿依頼をし、記憶をたどりながら書いていただき、本当にありがとうございました。記録写真とにらめっこしながらの編集作業に、改めて着付けの感動を思い出しました。(守友伸子)

今年から編集に参加させて頂き、大変さを実感すると共に、物事の見方が変わる良い経験を得ました。先輩委員に教えて頂きながら、楽しく発信出来たと思います。よろしくお願致します。(大谷礼子・神前淳子)

学院誌の編集作業をしながら、一年間のいろいろな行事・活動を改めて振り返りました。

綿密な計画・準備もさることながら、担当や参加者各々の気配りや協力体制があり、チーム山原学院の団結と底力を感じます。そして、「喜んで」を口ぐせにして、笑顔で仕事を引き受けてくれる学院の仲間たちがいます。

今後も大きな行事がひかえています。皆様の団結で楽しく成功させましょう。(細田節子)

翔 第三十三号

平成二十九年九月一日発行

発行/全国きもの指導者協会認定校

山原昌雄先生の着付け学院

〒926-0816

七尾市橋本町二六二

TEL 〇七六五 五二一六二五

FAX 〇七六五 五二一七五五

ホームページ

http://yamahara.web.fc2.com/

編集 翔 編集委員会

責任者/山原 昌雄

印刷 第一印刷株式会社

〒926-0031

七尾市古府町へ部三十七番地

TEL 〇七六五 五二一三八〇〇

ようこそ、飛鳥II!!

七尾準師範会 竹田 宏枝

8月24日、国内最大級の豪華客船「飛鳥II」が七尾に入港しました。その日は朝から「突然の雨に注意」という不安定な天気でしたが、船が着く頃には快晴となり、心も身体も晴れやかな中、70人余りの乗客の皆様をお迎えさせて頂きました。

「ようこそ、七尾へ」

「いらつしやいませ」と大きな声と笑顔にてお出迎え!!

バスで次の観光地へ行かれる方達に手を振ってお見送りした際には、走り出すバスのガラス越しの中から乗客の皆様が大きく手を振ってこたえてくださり、大変感動いたしました。一期一会に感謝の一日でした。



7月30日 七尾文化協会主催行事



丸亀市からお客をお迎え、交流会に参加しました。

笑顔を残して

九月に金沢準師範会の中出満代先生、十月末に師範会の西谷洋子先生、十一月に師範会の石端雅子先生のお三人がお亡くなりになりました。

お世話にな

りありが

とうござ

いました。

合掌

石端雅子先生

西谷洋子先生

中出満代先生



表紙の写真・文

表紙の鳥はタゲリと言います。チドリの間では大型で、ほぼハトと同じ位の大きさです。主に冬鳥として渡来し、田鶴浜の水田等で昆虫やミミズ等を捕食しているのを見ることがあります。黒い冠羽や光沢のある緑色の羽を持ち、ミューミューと猫のような声で鳴く美しい鳥です。(七尾市在住の写真家・島木茂氏の作品)



和日遊日

はるなお

はるなお文化教室

きもの着付・茶道【表千家・裏千家】・書道
木目込み・組紐・水引・和裁・きもの de おでかけ
など 一緒に『和』を楽しみましょう

〒926-0048

七尾市松物町2番地

Tel:0767-53-0423 Fax:0767-52-9033

和日遊日はるなお

検索

アップティ Up-T みんなと違うと世界が楽しい

あなただけの
オリジナルTシャツが
1枚から作れます!

3営業日出荷

10枚以上から
最大
50% OFF

ポイントが貯まる

あなたが描いたデザインをオリジナルアイテムにカンタンに作成できる!

☎0120-86-4321 受付時間 9:30~18:00 (土・日・祝日除く)

✉info@up-t.jp メールからのお問い合わせは24時間受付中!

http://up-t.jp

up-T

創業80年の実績

丸井織物株式会社

〒150-0001

東京都渋谷区神宮前 3-25-6 サンビューティ原宿 2F



後悔しないきもの選びを

和福工房 はる喜

七尾市阿良町2 ☎ 0767-52-3162

豊かな暮らしを演出する



新築・リフォーム・宅地売買

宅地建物取引業 石川県知事第(8)2226号

シティハウス産業株式会社

〒926-0818 石川県七尾市馬出町八部51-3番地

TEL 0767-53-2133

FAX(0767)53-7910

ブログ・ホームページ
Facebook

シティハウス産業

検索

あなたの想いをカタチにします。

DESIGN COMMUNICATION, CORPORATION IDENTITY, ADVERTISING, WEB SITE, EDITORIAL DESIGN, PACKAGE DESIGN, PRINTING

SOLUTION!

第一印刷株式会社

■本社 石川県七尾市古町4-34-1
■全沢営業所 石川県金沢市錦江町中丁260番地1

info@dalichiprint.co.jp

TEL:0767-53-3800 FAX:0767-53-3556
TEL:076-255-3970 FAX:076-255-3972

SALES PROMOTION
zoun
magazine

